

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚・防災リーダーの会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	防災・減災情報を発信し、安全・安心で広がるまちづくり
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施時期 ①定例会：8月以降毎月開催する定例会で意見議論する。 ②市広報課との打ち合わせ：7月28日に初回打ち合わせを実施。以後数回全体スケジュール等具体的内容を調整する。また、都度電話で内容確認する。 ③冊子編成会議：詳細を議論して冊子構成を構築する。 ④委託先との調整：③冊子編成会議と調整して冊子を作成する。 場所 ①③は、主としてコム1（宝塚市売布） ②市役所内 ④アピア 回数 ①8月以降の定例会計8回 ②7回 ③20回以上 ④6回 参加人数 ①延べ108名 ②延べ14名 ③延べ120名 ④延べ20名
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	トライやるウィークやFM宝塚での放送で活動した成果として、次世代を担う中学生を対象にした冊子を作成した。 ・自分たちが住んでいる宝塚市の地形を知ってもらい、起こりうる災害で問題意識を整理することでより対応力ができることを期待できる。 ・地形等の知識があれば、勾配のある坂道の地域や川沿いの標高の低い地域等各地域での防災の備えが異なることを学ぶことができる。 ・情報が氾濫している即今において、常日頃から正しい情報源を学ぶことによりいざという時に正しい判断が可能となる。 以上をはじめとして、「防災の学び」「災害時の行動」「日頃の備え」「中学生の役割」を認識することで今後発生するいかなる災害にも対処できる次世代を担う地域防災の担い手が育成できる。 また、デジタル媒体（HP等）を今後運営することで最新情報を更新できるとともにQ&Aを更新することで防災に感心して身近なものとしてより組んでもらえると確信する。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 こもたの推進委員会

1 事業種別	行政提案型
2 事業名	こもたのまっぷ～子育て応援情報とまちの魅力発信～
3 事業の内容(実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。)	①ウェブサイト「こもたのまっぷ」を新設 市内の子育てに関する情報やお出かけスポットを一覧化。カテゴリー分けやタグ付けをし、情報を探しやすくした。 https://comotano-portal.org/ ②紙媒体「こもたのだより」の発行 宝塚市や市内事業者や地域団体の紹介など 発行部数:3,000枚 発行月:2025年12月 配架場所:市内全域(市内の公的施設、社会福祉協議会、市内事業所、地域の子育て支援グループなど) また、「こもたのカーニバル」チラシの発行 こもたのカーニバルの内容紹介など 発行部数:3,000枚 発行月:2025年12月 配架は、子ども家庭支援センターを通じて行った。 ③SNSでの発信 こもたのプロジェクトの既存アカウントを活用予定(Instagram、Facebookの2種) ④親子向けイベントの実施(ワークショップなど) 5月10日(土)11日(日) 「KIDSフェスinたからづか」 場所:末広公園 参加人数:1200名 5月27日(木)・7月25日(金)・10月16日(木)・12月18日(木)・2月24日(火) 「こもたのひろば～あつまれ!0・1・2才さん!～」 場所:プレミア宝塚 参加人数:合計320名 7月21日(祝日) 「ここおる縁日」 場所:まちのつどいば ここおる 参加人数:100名 12月13日(土) 「こもたのカーニバル」 場所:文化芸術センター 参加人数:850名
4 事業の効果・成果(事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。)	

1. 情報アクセスの最適化と不安解消

【成果】

情報の集約化: 行政サービスや地域団体の活動、店舗情報などをウェブサイト「こもたのまっぷ」に一元化できたことで、情報の「縦割り」による弊害を解消し、必要な情報へスムーズにアクセスできる環境を構築できた。

【効果】

心理的負担の軽減: 専門用語を避け、利用者の目線に立った情報発信を行うことで、特に不安を抱えやすい乳幼児期の保護者が安心して子どもを見守り、育てられる環境に近づけられたと思うが、情報量はまだまだ少なく、今後子育て世代の声をアンケート等で効果を測定したいと思う。

2. 地域コミュニティの醸成と孤立防止

【成果】

対面によるつながりの創出: 「こもたのひろば」や「こもたのカーニバル」といったイベントを通じ、保護者同士や地域サポーターとの出会いの場を提供し、育児の悩み相談や相互扶助ができる環境をつくることができた。

【効果】

多世代交流の促進: 子育て世代以外の市民も情報に触れる機会を増やすことで、地域全体で子育てを応援する機運を高めることができ、子育ての悩みを聞いてもらえる支援者となげることでもできた。

3. 市民参画による持続可能なまちづくり

【成果】

宝塚市民を「市民ライター」として起用し、取材活動を通じて地域の魅力を再発見・発信することで、自らまちを良くしようとする主体的・継続的な活動を実施できた。

今回のテーマは「西谷を深掘る」

自然の家や北部振興企画課協力の元、普段知ることのない西谷の魅力をまとめた。

【効果】

行政、市内事業者、大学等と協働することで、補助金終了後も寄付や協賛金による自立した運営を目指す協力体制ができてきている。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 たからづかクリエイト

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	宝塚中心市街地のグルメマップ作成
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	昨年秋から対象店舗のリスト作成。 宝塚～宝塚南口の中心市街地の店舗をカテゴリ別に分けて 80 店舗をピックアップ。 それによってマップ上のプロット（位置関係）を設定してエリアの確定。 同時併行してシステム（ワードプレス）で入力フォームを作成。 ドメインやサーバー契約。ネーミングを「たからづかグルメガイド」に決定。 1月より、約 10 店舗取材開始。入力フォームに入力編集作業。 イラストレーターによるマップの完成。店舗のプロット作業。 カテゴリごとのイラスト作成（アイコン制作） 紙ベースの編集、制作、印刷 A3×2つ折り 取材中に内容が閉店された店舗があり、 78店舗に変更。3月23日 2000部納品 3月31日までに宝塚ホテル、ホテル若水、宝塚ワシントンホテル、宝塚商工会議所に設置予定 → 3月30日に全て新全で設置依頼済 同時に WEB「宝塚グルメガイド」が3月22日に公開されました 
4 事業の効果・成果（事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。）	完成が3月23日であったため、効果は今からになります。 今回の一番の目的が大相撲の巡業時にホテルにお泊りの力士さんたちにこのグルメガイドを利用してもらいたいということで制作した経緯もあるので宝塚ホテル、宝塚ワシントンホテル、ホテル若水、宝塚商工会議所に設置しました。 今後 WEB のアクセス数により、効果を検証していきます。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 Takarazuka ベーカリーフェス実行委員会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	Takarazuka ベーカリー&カフェ フェス
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	第 2 回 Takarazuka ベーカリーフェス （実施時期）2025 年 11 月 30 日（日）午前 10 時～午後 3 時 （場 所）武庫川左岸 宝塚駅～宝塚大橋までのエリア （参加人員）約 5,521 人 （目 的）武庫川河川敷に宝塚市及び近郊に点在するベーカリーを集めた市民参加型のフェスを通じて、近隣住民のコミュニティ強化、宝塚市の資源活用、活性化を図る。 （ターゲット）幅広い世代の市民、近隣住民。特に次世代の若者がフェスを通じて地域で活躍する舞台づくり。 （内 容）宝塚市及び近郊に点在するベーカリー・カフェの販売ブース （西谷食材や宝塚市の就労継続支援 A 型事業所が加工した近隣食材を活用） 河川敷でゆっくり時間を過ごせるための飲食ブース パン食い競争や小型モビリティ体験などみんなが楽しめる企画 地元ベーカリー&カフェの継続購買につながるマップの作成・共有 （担い手） 有志参加者約 20 人の実行委員
4 事業の効果・成果（事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。）	・シビリックプライドの醸成 「市民による」の実現：イベント企画、地元企業への協力依頼から、当日の広報を中心とした運営を地元の大学生が務めるなど若い世代の担い手が参加。 「市民のための」の実現：宝塚に点在する小さなベーカリーを集めて出店してもらうことで、地元ショップの宣伝・アピールの場とし、イベント後、日常の購買・消費につなげると共に、近隣・市民の人と地元のお店のコミュニティ強化を図る。 加えて、市民にとって身近な場所で、身近なベーカリーとカフェを味わうことで地元愛の創出につなげる。 宝塚市の食材をテーマにした限定メニューを通して、西谷を中心とした地産地消のきっかけとなる。 年次開催の定期的なイベントとすることで、国内外の観光客の宝塚への訪問のきっかけとなる定期イベントを目指す。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 壁がなければ実行委員会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	第 4 回すべての人の作品展ぷらす
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	あらゆる方々が共生できる場づくりを目指して 創作環境に恵まれていない方、創作はしないという方にも参加いただけるよう会場運営のお手伝いも募集、大きく門戸を開く作品展を開催しました 児童館で行ったアート防災マップづくりでは、居住地の魅力再発見にも繋がって、参加くださった児童、引率くださった役員やご家族の方にも大変楽しんで戴け、地域コミュニティの充実にも関与出来たものと思います 2025 年 10 月 31 日(金)～11 月 3 日(月) 4 日間 10:30～18:30 作品搬入 10 月 30 日(木)10:00～18:00／ 搬出 11 月 4 日(火)10:00～16:00 宝塚市立国際・文化センターギャラリー1・2・3 ●無審査・無賞・無料・対象不問の様式自由出品公募による作品展示 ●こはまミニ児童館アート防災マップ展示 出品 131名／ 会場運営ボランティア 延 50 名 来場者 376名 ○振り返り会 2025 年 12 月 17 日(水) ぷらざこむ 1 フリースペース 参加者 11 名
4 事業の効果・成果（事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。）	昨年まで 5 日間としていた展示期間を本年度は 4 日間とし、例年半日間で行う作品搬入を展示日程を減らして丸 1 日間で行いました。時間に余裕を持たせたことで、ご出展者にご自身で作業していただく内容が増え、皆さんの参加意識を高めることに繋がったと思います。 総来場者数は、昨年度は特別イベント来場者を含み 396 名、本年度は特別イベント開催無しで 376 名でした。特別イベントはなく日数も減りましたが、お越しくくださった方の人数にはさほど影響がなく、ご出展方もご来場方もより真剣に作品と向き合ってくださいようになってきたように見受けられます。 障がいのある方など社会に出られずにいる方にもコミュニケーションの場を持って欲しいという願いからこの作品展は始まりましたので当初、そのような方が多かったのですが、宝塚市の助成を賜るというご厚情に恵まれ、参加者は地域の方々全般に広がってきています。 一般的な認知度があがり、地域のコミュニケーション事業の一つと捉えてくださる方が増え、普段は交流のない方々、交流に困難を抱える方々の貴重な出会いの場となってきたことを痛感します。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 ニノバ交差点の会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	「みんなで作ろうみんなの居場所」「ニノバで過ごしてみよう」
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施時期：4月～9月（準備期間と、効果確認期間を含む） 実施場所：ニノバの店内 回数：19回 参加者数：約120人 内容：①店舗改装の一部として地域の方や子どもたちと棚製作とペンキ塗りを行う。 ②夏休み中に様々なワークショップを行う。 詳細： ①スペースの問題と換気の問題などが出たので広く広報せず、参加者はボランティアの大人方と、近隣の小学生のみ直接声をかけて、定休日に元大工の方のご指導の下、棚製作とペンキ塗りを行った。 3回：大人と子どもたち5～6人 ②校区内のラジオ体操会場や広報版などで広報する。 ワークショップは、 1. 手芸教室 6人×2回 2. ニノバトーク（子ども哲学対話）10人×2回 3. 夏休み工作教室 5人×10回 4. 夏休み宿題やろうよ！5人×6回 ワークショップ内容： 1. 市内で「仕立て屋リヤン」を営まれている上原さんを講師に迎えサコシュの手縫いを子どもたちに指導していただいた。 2. 菱田伊駒先生、細川貂々さんによる子ども向けの哲学対話を行って頂いた。 3. 子どもたちに布バッグにステンシルで自由に絵を描いてもらう他、ミニチュアのスイーツデコ作品など思い思いに作ってもらった。 4. 夏休みの後半に、スペースを開放して夏休みの宿題や、塾の宿題などを自由に行ってもらった。

4 事業の効果・成果（事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。）

各イベントの効果

①柵やテーブルにペンキやニスを塗ってもらい、地域の人と子どもたちがふれ合う事が出来た。また、自分たちの居場所を自分たちで作ったことでこの場所に、より愛着を持ってもらえると感じた。

②ワークショップ

1.私たちが子どもの頃は、母親が繻い物や、洋服を縫ってくれることもあったが、最近ではそれも珍しく、家庭科の授業以外で針や糸に触れる事も少なくなってしまった。そんな子どもたちが針に糸を通し、ひと針ひと針 根気よく縫う作業を最後まで行うことが出来た。

2.菱田先生や貂々さんが日ごろから市内のお寺で行っている大人向け、不登校を含む子ども向けの哲学対話を、近隣の子どもたちを対象に行った。子どもたちが活発に意見や考えを言っても良いことを学ぶ事が出来た。

3.主に小学生を対象に、オリジナルのカバンや、スイーツデコまた、スマートボールやけん玉づくりに挑戦してもらい、楽しいひと時を過ごす事ができた。

4.夏休みの宿題や塾などの課題をみんなで行き、自分へのご褒美として駄菓子を買って食べる様子は、まさに彼らの居場所として認知されつつあると感じる事ができた。

事業全体の効果

今回行ったすべての事業を通して地域の子どもたちに伝えたかったことは、

「ニノバは駄菓子売っているだけのお店ではなく、地域の子どもたちや高齢者までもが気軽に立ち寄れて、集える居場所である。」と、言うことです。トイレを使うだけでもいい、宿題が出来る場所、買ったものをその場で友達と食べられる場所、地域の方は珈琲を飲みながら子どもたちとふれ合う場である。一人で来てもお店の人やそこにいる人と喋れる場所です。

現在、その効果が出始めて、喫茶コーナーに珈琲を飲みに来られた高齢者と買った駄菓子を食べている子どもたちとの交流が始まっています。

子どもたちが学校から帰って来るまでの時間は、地域の人たちに珈琲を提供し、高齢者や不登校のお子さんの居場所となっています。また、近くに公園などが無いため、ここを遊び場として、スクラッチ付き菓子を15円で買って当たり券が出るのを楽しむグループや、「おばちゃん宿題してもいい？」と塾の宿題をする子もいます。市販のお茶を常に準備して提供出来るようにしています。また無駄遣いをしないようにと、「当てもんは一人5回まで」としています。また「お金の貸し借りやおごったりしないこと」「自転車は整頓しておくこと」「大声で喋らないこと」「喫茶のお客さんには席を譲ってね」などルールを決め、守ってくれています。

夕方にはお散歩途中の高齢の方が、子どもたちの様子を見守るように珈琲を飲みに来られます。「僕は何年生？」と子どもたちに声をかけて下さいます。自ら戦争の話を聞きたいと申し出る子どももいます。

私たち売る側も、駄菓子を買ってくれる子どもたちの側も常にウインウイン＝対等な関係でいるところが、この事業の目指すところです。保護者を通じた支援ではなく、子どもたちへ直接のアプローチすることによって、子どもたちの心とふれ合い、地域の大人たちにも現状を見て感じて頂ける居場所になっていると思います。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚市第一地区自治会連合会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	第一地区ネットワーク会議 にこりたす1 DAY
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施時期：令和7年9月27日（土） 場 所：くらんど人権文化センター、中野公園 回 数： 1 内 容：大ホール（出演）高司小金管バンド、仁川小音楽隊、光明小音楽隊、育児プラスバンドたんぽぽ団、DNCE★riche（ダンスリッシュ）、Sound Savvy、高松子どもエイサー 和太鼓 熱光 ワークショップ（出展）：トーキョウコーヒー、コミュニティ未成、PUB、りいさかりん、消防ミニ講習、アメリカンアカデミー、hiro 商店、メダカ工房、星の子子供会、わんぱくピーチ、障害者スポーツ協会（ボッチャ） 飲食ブース（館内）：ターリー宝塚、Lemon Tree、シンゴウキ、わんわんパトロール中野公園（出店）笑居場さん、ラブリーガーデン、子ども食堂ゆりゆりうおまさ、ゆかい食堂、Hall、宝塚飛翔殿 上記 30 団体が参加し、各まちづくり協議会、自治会（29）、民生児童委員、市行政、社協 及び、ボランティアグループ Holl+、中学生 G、高校生 G のサポート部隊が会場準備、司会進行、警備（駐車・駐輪整備含む）を担当
4 事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）	事業の効果 ① 効果の広域性：第一区内の5小学校区まち協と自治会連合会（30）並びに民生児童委員協議会、小学校 PTA、地域ボランティア（中学生・大学生）、地域活動者が一体となって参加し、各団体との連携が強化できた。 特に、中学校生徒会を中心としたボランティア、大学生ボランティアの活躍が目立つ ② 成果：地域活動者と勤労世帯との接点づくり、一緒に企画することを通して、相互に知り合う・顔の見える関係をひろげることができた。 ③ 中野公園・調理室では、地区内の団体（11）が飲食を提供し、多くの参加者が列を作った。 総合的な効果 ① 地域内の各団体が多く参加し、各世代間のきづなづくりがさらに強化された。 ② スタンプラリーを工夫することで、団体同士のネットワークがひろがり、自治会連合会、まちづくり協議会、民生児童委員、子育てグループ、個人、企業、専門職、行政など1地区にある多様な人や地域活動者がどんどんつながり、1地区全体を盛り上げ地域活動ってたのしい！って思う人を増やすというにこりたすの目的が達成できた。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 AMAZING TAKARAZUKA 実行委員会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	宝塚の音楽と食と文化の祭典（第1回AMAZING TAKARAZUKA フェス）
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	第1回 AMAZING TAKARAZUKA フェス（宝塚の音楽と食と文化の祭典） 開催日：令和7年9月20日（土） 開催場所：宝塚文化創造館（有料ステージ） 宝塚市立文化芸術センター みんなの広場（ワールドフードテントブース＋受付） 花のみち・さくら橋公園（キッチンカー＋無料ステージ） 開催時間：開場 10:00 / 終了 18:00 内 容：① 有料ステージ（宝塚文化創造館講堂）5組 通し券 3000 円 アーティスト券 1500 円 出演者：K・106、今村モータース、クマガイタツロウ&イクロー（ワナベフラワー）、南里沙、初輝奏 ② 無料ステージ（花のみち・さくら橋公園ステージ）7組 出演者：ハロルド、Beginning Of Sunday、モンキーハレンチ、Banda Cerveja、Dance School Leap、TAS☆TAP、中嶋幹人 ③ キッチンカー（花のみち・さくら橋公園）5台 EMOiDELi（ベトナム料理）NomNom（ハンバーグ丼など） WIND STREET FOOD（焼きマグロ等）ドクターイエローダイナー（チキンオーバーライス等）ほおぼるキッチン（ローストビーフ丼等） ワールドフードテントブース（宝塚市立文化芸術センター）5店舗 リーリバジャ、淡路島バーガー、わらび餅専門店清香、たからづか牛乳、コープ自然派 参加人数：1,500 名 有料ステージ入場者数：110 名 主 催：AMAZING TAKARAZUKA 実行委員会 後 援：宝塚市・公益財団法人宝塚市文化財団・宝塚市教育委員会・宝塚市国際交流協会・宝塚市国際観光協会・エフエム宝塚 協 力：Make Wow Takarazuka、ディヴオーション、4 FLOOR、クルーズ大阪芸術大学短期大学部 （先生と声優コースなどの OGOB がアナウンスなどを担当） 広 報：広報たからづか 9 月号 11 ページ、コミパ Vol.82,83、市内公共施設等にチラシ配架、市内小中学校にチラシ配布、FM 宝塚・Kiss FM Kobe に出演 9/16、協力店舗等でチラシ・ポスター掲示、 HP・インスタグラムで配信、アーティスト・実行委員の SNS で配信

4 事業の効果・成果（事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。）

有料ステージ（プロ・セミプロ）・無料ステージ（セミプロ・アマチュア）ともに、客席と一緒に楽しむ演奏を通じて、子どもから大人まで大いに楽しむことができ、市民の文化芸術意識が高まった。

プロの演奏を聴くことで、プロの素晴らしさを再認識し、極上の体験ができた。

無料ステージでは一緒に歌ったり踊ったりすることで出演者を身近に感じ、自分たちもやってみたいと感じることができた。

キッチンカー・フードテントでは宝塚の名店にも出店してもらったことで、会話が生まれ、後日足を運んでもらえることにつながっている。

芝生の広場でフードを楽しみ、家族や友人と笑顔で過ごす時間を持つことができ、こういった形態のイベントの有効性を感じることができた。

音楽とグルメを一か所に集めたことで相乗効果が生まれた。

地元施設や店舗、企業に参加・協賛等してもらった事でつながりが生まれた。

実行委員に企画のプロ等が入ることで、運営に幅が出て、実施のクオリティーが上がった。他のイベント等にもつなげていくことができる。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 売布小学校区まちづくり協議会

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	歩いて行ける小さな花火大会
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	・開催日時：令和 7 年 9 月 23 日（火・祝日） 16 時～19 時半 ・場所：売布小学校・旧売布幼稚園 ・回数：全 1 回 ・参加人数（推定）：約 1800 人。 【内容】 ・玩具花火を使った花火大会 ・ヲタ芸サークル「公 star」と zukaden(宝塚電子倶楽部)による光のショー ・無料のゲームコーナー（スーパーボールすくいやストラックアウトなど）のスタンプラリー ・有料のゲーム（ドッジボールチーム） ・食べ物・飲み物の屋台 6 店舗
4 事業の効果・成果（事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。）	・昨年度より参加者が増え、推定約 1800 名の地域住民の方に参加いただいた。アピール力の高い花火大会を開催し、お祭りをより活気のあるものにより地域の魅力や活力をアピールし、地域のイメージアップや地域振興に寄与することができた。 ・ボランティア募集を行うことで、お祭り運営への参画を促し、約 60 名（まちづくり協議会役員等を含む）のスタッフで力を合わせて運営を行った。イベントへの思いを共有し、地域社会の絆が深めることができた。 ・就労継続支援の作業所による出店を促し、事業者の売上に貢献し、作業所で就労する方の意欲向上につなげる。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚子ども農園

1 事業種別	自由提案型										
2 事業名	宝塚山本で農業に触れ、農作物をありがたくいただくプロジェクト										
3 事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	長尾南小学校児童、宝山保育園園児が「農に触れ農を知る機会の創出」するために、近隣の農地を利用してサツマイモの苗植え、生育観察、イモの収穫といった一連の農業の流れを、農地に入って学び、収穫したイモを持ち帰って食してもらう取組を行いました。 農業の重要性や作物の生育状態や生物の営みなどの理解、安全な食べ物を美味しくいただくことの重要性（食育）についても、教員の先生方と情報を共有しました。また、サツマイモの調理方法については、クックパッドにアップされている宝塚市学校給食の調理方法などの情報を共有しました。 【実施時期等】 4 月より耕運、草刈りを実施。畝たてやぼかし肥料作り、堆肥の搬入等の農地整備を行った。実施した概要は以下のとおりです。 <table><tr><th>実施時期(※1)</th><th>児童・園児の活動</th><th>作業内容等</th></tr><tr><td>6 月 4 日 6 月 12、13 日</td><td>イモの苗を定植</td><td>苗植え（※2）を支援</td></tr><tr><td>10 月 8 日 10 月 15、17 日</td><td>小学校 1 クラス単位、保育園年次単位でイモの生育状況を観察。 児童・園児にイモの収穫・持ち帰る。</td><td>イモツルの生育観察会・説明、イモの収穫支援（※3）</td></tr></table> (※1) 上段 保育園実施日 下段 小学校実施日 (※2) 小学 3 年生 4 クラス（122 名）がクラス単位で、また保育園 5 歳児（約 30 名）が苗植えに参加。 (※3) 小学 3 年生 4 クラスの児童及び保育園児（3～5 歳児、約 100 名）が参加。 なお、当初予定のツル返し作業等の日程が猛暑のため回避されました。イモのツルを使った長尾南小クリスマスリース作りを 12 月 19 日に実施する予定です。 【実施場所】 山本南 2 丁目農地（約 3 アール）		実施時期(※1)	児童・園児の活動	作業内容等	6 月 4 日 6 月 12、13 日	イモの苗を定植	苗植え（※2）を支援	10 月 8 日 10 月 15、17 日	小学校 1 クラス単位、保育園年次単位でイモの生育状況を観察。 児童・園児にイモの収穫・持ち帰る。	イモツルの生育観察会・説明、イモの収穫支援（※3）
実施時期(※1)	児童・園児の活動	作業内容等									
6 月 4 日 6 月 12、13 日	イモの苗を定植	苗植え（※2）を支援									
10 月 8 日 10 月 15、17 日	小学校 1 クラス単位、保育園年次単位でイモの生育状況を観察。 児童・園児にイモの収穫・持ち帰る。	イモツルの生育観察会・説明、イモの収穫支援（※3）									

- 4 事業の効果・成果（事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。）

市民の活動

宝塚山本の農地での取組は、小学校、保育園の児童・園児（含む保護者）及び教員の環境学習や食育活動を通じて、農家の方々や住民といったまわりの方々を巻き込んだ市民活動を行いました。

地域の農に触れ農を知る独創的な機会の創出

小学校、保育園の近隣の農地を使い「農に触れ農を知る機会」を作りだすように工夫しました。

児童・園児に「自分たちの植えた苗」、「自分たちの利用している畑」という認識がめばえ、農業の理解、栽培することの喜びが随所に見られました。

また、畑の苗植え、観察・収穫の後に小学校における振り返りの授業が行われており、学校教育との連動、体験した知識の定着や共有がなされました。「自然を感じる心」、「自然に興味をもつ姿勢」が育まれているとの声をいただいています。

安全な食べ物を美味しくいただくことの重要性（食育）

小学校、保育園のすぐ近くで作物を育て、収穫したものを園や家で食べるという体験ができました。育てた無農薬の作物を美味しく安全に食す喜びを感じてもらいました。また、保育園・小学校の先生方との情報共有により、調理方法等の認識を深めることができました。

若い世代が農業をめぐる社会問題や食の安全性、美味しい食事のあり方などを学びとる機会ができたと感じています。

作物の生育状況や生物の営みなどの観察・理解

児童・園児が畑に入って作物の生育状況を調べ、そこに生息する様々な生命（カエルや虫、みみずなど）を見ることにより、自然の大切さを理解してもらいました。

軍手を自分ではめることも出来ない3歳児が元気に土に触る姿や、土から出てきたサツマイモをマジマジと見つめる姿をみて、屋内では体験できない経験を宝塚市の保育園・小学校近隣で体験できたことは大変、効果的であったと思います。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 山本おさんぽマルシェ

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	山本おさんぽツアー&スタンプラリーと夕涼み
3 事業の内容	(実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。)

山本でぶらり夕涼み

■事業の内容■

実施期間：8月1日～31日

実施場所：参加店舗 12店が各店舗で好きな期間好きな回数行った

内容：オリジナル提灯を販売し、その提灯を持って対象店を訪れるとプレゼントがもらえたり、割引サービスが受けられる。対象店は提灯を店頭に灯して目印とした。また提灯をたくさん吊るしたフォトスポットを設置。

参加者数：約 100 名

■事業の効果・成果■

8月の猛暑を避けた時間にイベントを設けたことで既存のお客様に加え、今まで山本駅界限に行きたかったけれども仕事で行けなかった方が訪れて下さった。また提灯を持って歩くという体験を楽しみ、SNS 映えした投稿を見た方から、インスタのビューとフォロワーが増加し、山本駅界限の取り組みに高評価の声が届いた。地域の方も提灯をきっかけに山本駅界限の取り組みに興味を持ってくださった。

山本おさんぽツアー

■事業の内容■

実施期間：10月4日、10日

実施場所：山本駅南エリア、平井エリア、（長尾エリアと山本台エリアは催行人数に達しなかったため中止）

内容：山本を愛するコンダクターがまちをご案内。店の佇まいや店主との会話、歴史などをおさんぽしながら楽しむツアー。各ツアー10人程度募集。特典として、ツアーオリジナル缶バッジをプレゼント。またツアー終了後に対象店で使える金券(補助金対象外)をプレゼント。

参加者数：18名

■事業の効果・成果■

企業の公式アンバサダーなども行っている方と、地域を熟知しているライターをコンダクターとして起用。オリジナリティのある目線の案内、単独では入店しなかった店舗にも足を踏み入れて店主の話が聞けたこと、歴史を知ったことなど多角的な面白さが提供できた。商品券が配られたので、ツアー後は気になった店舗を訪れてくれた。

スタンプラリー

■事業の内容■

実施期間：10月1日～31日

実施場所：阪急山本駅周辺 参加店舗数 45

内容 参加店舗が設定した条件を満たしてスタンプを集める。

7つ集まると景品おオリジナル手拭いをプレゼント。

参加者数 約 300 人

■事業の効果・成果■

今回初参加の店舗 5店舗を加え 44店舗が参加した。（前回39、前々回45）

参加者のアンケートでは今まで興味があったが入りづらい店舗に立ち寄るきっかけになり良かった。スタンプラリーが楽しい。と好意的な意見がある一方で、7つあつめるのが大変で途中で断念した、飲食店が少ないなどの意見も見受けられた。

参加店舗のアンケートでは初めてのお客様が増えた、来店客数の増加、地域を盛り上げる活動として評価できる。告知が不十分、景品が前のほうが良かった、などの意見が寄せられた。

4 事業の効果・製菓（事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。）

3回目となる今回の事業で着実に山本おさんぽマルシェの活動が広く知られるようになり、次回を期待する声も多くなっている。

次回参加希望の新たな店舗も存在し地域の活動の広がりを感じる。。

課題としては中断することなくスタンプを集めてもらえる景品や仕組みを考える。

多くの人に足を運んでもらうための効果的なイベントの開催や告知の方法を模索する。

店舗を運営しながら限られた人数での活動が運営メンバーの負担となっているため人員の確保が必要。（12月12日時点で3名の運営委員増加が確定している。）

次回以降、このような課題を乗り越えながらまたより一層魅力的な活動内容で地域を盛り上げていきたい。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 ひらりんタカラヅカ

1 事業種別	行政提案型 ・ 自由提案型
2 事業名	ひらりん宝塚フェスティバルで逆瀬川界限を盛り上げよう!
3 事業の内容 (実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。)	ひらりん宝塚フェスティバル 実施時期 2025年6月22日(日) 場所 平林寺境内会場 ・ アピア3 2階 金魚すくい会場 回数 第4回 内容 ひらりん宝塚フェスティバルで逆瀬川界限を盛り上げよう! 参加者数 約1,500人 平林寺境内会場 (平林寺境内) 【イベント】紙芝居・音楽・落語・お琴の演奏・ヨガと瞑想・お茶席・撮影会・占い 【ワークショップ】こども落語・ロボットアームを作ろう・キャンドル作り体験・ 念珠作り体験・書道ワークショップ・クラフト作り・スマホスタンドを作ろう 金魚すくい会場 (アピア3 2階 特設会場) 【全国金魚すくい選手権 兵庫県予選認定大会 in 宝塚】 奈良県大和郡山市で開催される全国大会出場権獲得のため、一般の部10名、小・中学生の部10名を決定する予選大会(240名のエントリーありました)
4 事業の効果・成果 (事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。)	逆瀬川駅商業施設 アピア3の協力により、金魚すくいの予選大会が実現しました。 (参加費無料) 逆瀬川駅界限を盛り上げる目的で開催したひらりん宝塚フェスティバルは、4回目で平林寺境内から逆瀬川駅前までの点から面への拡がりを実現できました。 アピア3では、同日ビアガーデンや屋台山店があり、賑わいのある日だったとアピア3の方からお喜びの声をいただきました。 金魚すくいの予選会では、千葉県や岡山県からの参加者もありました。 金魚を通して、大和郡山市との交流、金魚外交はもっと宝塚市を知ってもらおう上でも大きな役割を果たしたと自負しています。 平林寺境内での参加イベントで、モデル撮影体験会がありました(参加費無料) メイクさんに素敵にしてもらってから、プロカメラマンに撮影してもらえます。 家族写真も多く、記念になったと大変喜んでいただきました。

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)
名前を付けて保存

団体名 伊子志自治会

1 事業種別	行政提案型 ・ ○自由提案型
2 事業名	1.市役所通り植栽帯整備(その2)と 2.市道宝塚仁川線 ^の 植栽帯整備補助
3 事業の内容(実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。)	1 市役所通りの植栽帯整備 今年度は、6年度と同じく、きずなづくり事業として、市役所通り(市道逆瀬川米谷線)の歩道部植栽帯に、雑草が生えるのを防止するための、グラウンドカバー植物(※クラピア)を植付けしました。 植込み場所は、伊子志一丁目交差点南側付近約5mと、但馬銀行玄関前付近20m、その他の場所も補充植込みを行いました。 2.市道宝塚仁川線植栽帯整備補助 市道宝塚仁川線植栽帯では、植木業者が不定期に、年間4回剪定していますが、勝手に生えてくる雑木の成長が、非常に速いため、横断歩道部近辺でも、大人の背丈を超えて繁殖することが、度々見受けられます。 今回は、例年は8月剪定のところ、7月上旬に例年より早く剪定したため、次の剪定時期が、異常気象でトキワマンサクの開花が無く、開花待ちの為、剪定出来ず、間が空いた為、雑木が非常に繁殖し、交通安全にも支障が見受けられる為、8月に自治会にて、雑木除去を行いました。 雑木の剪定場所は、伊和志津神社トンネル南側から、伊子志1丁目交差点付近です。
4 事業の効果・成果(事業を実施したことによって、実施した地域等にどのような効果・成果をもたらしたかなどを具体的に記入してください。)	今回の市役所通りのクラピア移植作業と市道宝塚仁川線植栽帯の雑木剪定作業は、5月から、9月の異常気象で、暑い日中の作業でしたが、地元付近の応援を頂き、作業できました。 今回、申請希望金額が少なかった為、作業範囲が制約されてしまいました。が、歩道で話しかけて頂く方々に、大変喜ばれていることが、わかりました。 また、異常気象の影響で、植物にとって、雨が降らないうえに、異常な高温で、クラピアを移植するには、多量の水が必要であり、水運び等の労力が大変な作業でしたが、地元の人や通行人から、「キレイですね」「ご苦労様」等、言われて元気を頂きました。